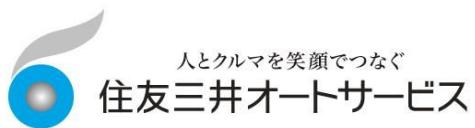


News Release



2012年5月10日

自動車用故障診断機（スキャンツール） 故障診断料金新設について

住友三井オートサービス株式会社（本社：東京都新宿区、社長：佐藤 誠）は、当社の自動車メンテナンスサービスを利用されているお客様へのサービス品質の向上を主目的として、業界に先駆け、当社の提携整備工場向けメンテナンスサービス委託メニューに、自動車用故障診断機（以下、スキャンツール）による故障診断料金を新たに設定し、事業パートナーである整備工場に、導入推奨を行ってまいります。

【自動車用故障診断機（スキャンツール）について】

従来は目視・触診・経験値等で特定していた自動車の不具合や故障箇所を、機械を使用して素早く特定するためのツールです。自動車の電子制御化が進展しているため、今後の自動車整備には必須になると考えられております。このスキャンツールは、整備工場事業者側の投資負担が大きいわりにはお客様に故障診断料金の理解が中々得られず投資費用を回収出来ないことや普及が進んでいない背景があるため、今回の当社の試みが普及促進の一助になると考えております。

1. 新たなサービス委託メニュー新設の背景

- (1) 近年、著しく自動車の高度な電子制御化、ハイブリッド化、EV（電気自動車）化が進展しているため、自動車整備業界では、スキャンツールを用いた整備が主流となることが予想されること
- (2) 日本自動車整備振興会連合は「故障診断料金の適正化」を推進しており、スキャンツールによる各作業を自動車整備標準作業点検表の作業点数として新設していること
- (3) 国土交通省主催の「汎用スキャンツール普及検討会」においてもスキャンツールの普及促進は重要と判断されていること
- (4) 当社提携整備工場のスキャンツール普及率は、ほぼ100%に達していることや、当社提携工場向けの当社主催の故障診断技術向上研修により正確且つ迅速なメンテナンスサービスをお客様に提供できること
- (5) スキャンツールを使用する故障診断技術向上により「重大な故障の早期発見」が期待でき、お客様へ「安全・安心」をお届け出来るとともに、排気ガスの悪化を防止でき地球環境への貢献も期待できること

2. スキャンツールによる故障診断料金新設開始時期

開始時期 : 2012年5月1日

当社は、自動車リース事業及び自動車総合管理サービス事業専業大手として、日本全国をくまなく網羅した拠点・サービスネットワークを有し、地域密着でお客様のニーズに、ワンストップできめ細やかな対応ができるサービス体制を強みとしております。

特にメンテナンス業務については、全国約 15,000 箇所の整備工場と提携し、万全な工場ネットワークを構築しています。

また、当社サービス部門では、顧客満足のための品質マネジメントシステム『ISO9001』の認証を取得する等、継続的なサービス品質の向上を図っており、当社と整備工場が一丸となって、お客様により質の高いサービスを提供できるよう取組んでおります。

以上

■本件に関するお問い合わせ先

住友三井オートサービス株式会社 (URL: <http://www.smauto.co.jp/>)

〒163-1434 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル

担当 : 広報室 船木(フナキ)、阪上(サカウエ)

電話 : 03-5358-6634 、 03-5358-6669